

# 知らないどこかへ 難民となった子どもたち

カシュミラ・シュエット 文

ニコロ・カロツツイ 絵

すぎもと えみ 訳  
杉本 詠美



どこからのがれてきたのだとしても、  
住みなれた土地をはなれるのはつらい。  
そのあとの旅も、つらかった。  
ようやく安全な場所にたどりついたときには、  
おなかはぺこぺこ、のどはからから。  
つかれきって、とにかく休みたかった。

